

# 国保税のさらなる値上げはやめて



11月28日埼玉県社会保障推進協議会は県庁を訪れ、第3期国保運営方針について、国保医療課と懇談を行いました。

第3期県国保運営方針案は2024年から2029年までの国保運営方針を定めるもので、2027年までに市町村国保税水準の準統一を目指すとしています。重大なのは2026年までに市町村が被保険者の負担軽減のために行っている一般会計からの法定外繰り入れを全廃するとしている点です。

法定外繰り入れがなくなれば、国保税のさらなる値上げにつながります。

社保協は保険税水準の統一は急ぐべきではない。国保税のこれ以上の値上げを行わないために、市町村の法定外繰り入れを認めるべきなど求めました。

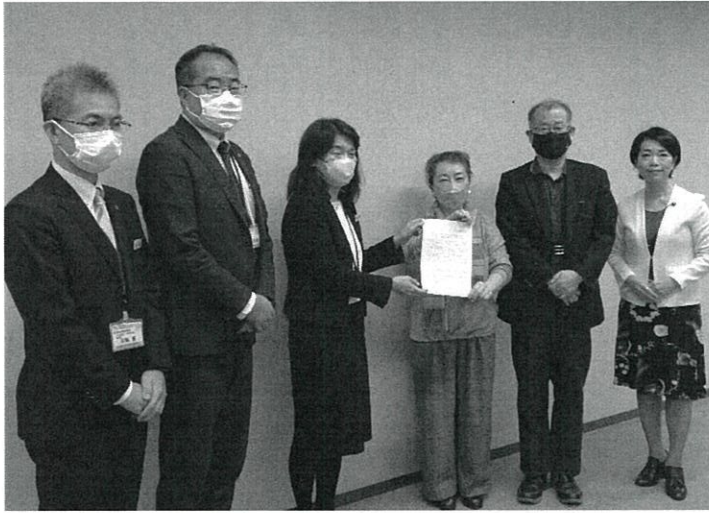
参加者からは「国保税が払えず、自殺した方も出ている。県民の生活を守るため、県として国保税を上げないためにどうする気なのか」など切実な声が出され、私も「市町村は国保税をできるだけ上げないために法定外繰り入れを行っている。県が法定外繰り入れをなくせというなら、国保税を上げないための新たな方法を示すべき」と県の姿勢を正しました。



## 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年12月6日 NO. 11  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

# 安全安心の医療・介護・福祉の実現のためすべてのケア労働者の大幅賃上げを



埼玉県医療介護労働組合連合会から県知事に対し、「安全安心の医療・介護・福祉の実現のためすべてのケア労働者の大幅賃上げを求める要望書」が提出されました。

新型コロナウイルス感染症は5類となりましたが、未だにクラスターが発生しており、ケア労働者の疲弊感は極限状態です。ケア労働者の離職が増加する一方で、募集しても思うように採用できない現状。ケア労働者の賃上げが必要です。

現場からは深刻な人手不足の実態が相次いで報告されました。

県は地域医療を支える現場への支援を早急に具体化するべきと求めました。

## 県政・市政報告会

こぶし町地域で議会報告と地域懇談会が開かれ矢作市議と参加しました。私は9月定例会での自民党が提出し、その後撤回に追い込まれた「児童虐待禁止条例」の問題などを報告しました。「今まで県政が遠い存在。よくわかないと思ってきたが、県政が身近になった」との声をいただきました。また県政へのご意見も出されました。議会報告は県政や市政を身近に感じて頂き、一人ひとりのご要望を伺う機会でもあります。

引き続き、みなさんの声を県政に届けてまいります。



## ゆきとどいた教育をすすめる 実行委員会が50956筆の署名提出

少人数学級、教育予算・私学助成の大幅増額など、ゆきとどいた教育の実現を求め50956筆の署名が埼玉県と県教育委員会へ提出されました。署名に取り組んだ高校生は「母子家庭で教育の負担が過酷。安定した学習を続けることが困難」保護者からは「どんな子どもにも平等に教育を受けられる環境を！」教職員は「教育に格差があってはならない。教員の欠員が増加。特別支援学校では教員不足は子どもの命に関わる！」と発言。教育予算の拡充と負担軽減の声が相次ぎました。



## ミサイル避難訓練よりも戦争にしない外交努力を



12月5日、小川町の弾道ミサイル想定避難訓練を考える会が県庁を訪れ、「弾道ミサイル想定訓練の実施中止に対する知事発言の撤回とミサイルの避難訓練の中止を要望しました。私も同席しました。

小川町は「住民の不安を払拭できない」などの理由から「訓練中止」を判断しました。しかし知事は定例記者会見で「訓練で死傷者を減らせる」「(訓練を)実施しないことは命を軽んずる行為だ」と町の判断を批判しました。会の方たちは「訓練は『Jアラートが鳴ったら教室の真ん中に集まり頭を抱える』というもので、とても命を守ることに繋がらない。憲法の趣旨にのっとり、外交手段によって戦争状態をつくらないようにすることを政府に働きかけるべき」と訴えました。

私は「要望と地元の方の声をしっかりと知事伝えていただきたい」と重ねて要望しました。

## 所沢市内でいのしし出没 住民の安全確保に全力を

12月5日、所沢市内や小学校にイノシシが出没した件で県担当者から現状について報告を受けました。

県警も対応していますが、現時点でも捕獲されていません。

有害鳥獣法では捕獲の権限が県から市町村に移管されており、今後の対応は市長の判断になるとの事でした。

住民の安全確保のためにも県も所沢市と連携し対応するよう要望しました。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年12月6日 NO. 12  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

## 虐待そのものをなくす取り組みを



11月24日、城下県議は彩の国子ども・若者支援ネットワークを訪れ、アスポーツ学習支援事業、子ども見守り強化事業についてお話を伺いました。

子ども見守り強化事業はコロナ過の2020年、コロナの外出自粛、一斉休校などによる児童虐待等が増加することへの懸念から子どもの見守り強化事業をスタートさせました。

「おもちゃや食料などを届けながらお宅を訪問し、その際子どもの安全確認を行い、保護者や子どもの話を聞き、支援につなげていきます。行政を拒否する家庭であっても私たちが拒否する家庭はありません」と話していました。

虐待を防いでいく上で重要な取り組みだと感じました。

## 滞納処分は法令順守で一川口民商が県に要望

12月5日、川口民主商工会は、埼玉県税務課と懇談し、同席しました。

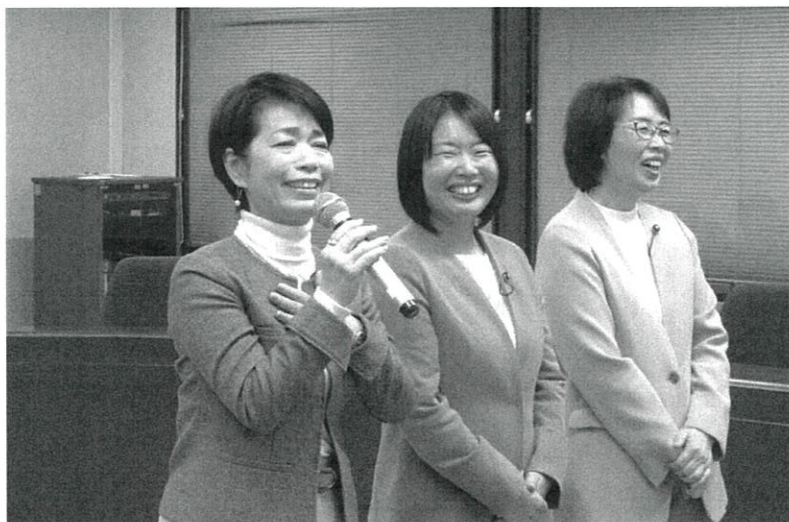
川口民商は「たとえ税金の滞納者であっても『法令の遵守をすること』を徹底していただきたい」との要望書を提出しました。

埼玉県商工団体連合会の岩瀬会長は、滞納者に対する県税事務所の対応について、「納税者は払いたくて県税事務所に足を運ぶ。でも、払うお金がないだけ。丁寧に寄り添った対応をしてほしい」と語りました。

私は「税金を払いたい人が、安心して相談できる県になってほしい。商売の継続そのものが難しい時代。県は、生きることを励ます存在になってほしい」と語りました。



## 県民の切実な声を取り上げた山崎県議の一般質問



12月11日に党を代表して山崎すなお県議の一般質問が行われました。

一般質問では子育てを支援するため、保育士確保対策の充実を求めました。また賃金低下と物価高騰に疲弊する県民に対し、国保税の大幅値上げにつながる法定外繰り入れの解消を推し進める県の姿勢を批判しました。

山崎県議の一般質問には60名を超える方が傍聴に来てくださいました。

一般質問終了後には傍聴者との懇談会を行い、笑顔あふれる会となりました。(写真左)私も団長としてあいさつしました。

# 福祉保健医療委員会

## 高すぎる国保税に加入者からは悲鳴が上がっています!!



物価高騰支援の補正予算が提案されました。

私は学童クラブへの補正予算がない事を指摘、担当課は「5月臨時会補成に対する学童クラブの申請率が11%、理由は支援単価が低いため。予算が残っている」と回答。

私は支援内容の改善と対応を求めました。

また、県が進める第3期国保税運営方針案の説明に対し私は「国保税の完全統一化で保険税は引き上げになるのではないかと」と質疑。

担当課長は「引き上げになる」と認めました。

高すぎる国保税に加入者からは悲鳴が上がっています!!

## 埼玉県議会 12月定例会閉会

12月22日県議会最終日

伊藤はつみ県議は2022年度決算について、国民健康保険税の引き上げや県立高校統廃合、県営住宅の応募に提供が間に合っていないなど県民の切実な声に寄り添っていないと反対討論。

私は知事提案の下水道維持管理費の引き上げについて、市町村料金の引き上げにつながる県として一般税源の活用で県民の負担軽減をと反対討論。

今定例会では、山崎すなお県議は一般質問で県民の声を県政へ届けました。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年12月27日 NO. 13  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

## 県内で発生した高病原性鳥インフルエンザについて緊急要望



埼玉県農民連のみなさんから県に対し、「県内で発生した高病原性鳥インフルエンザに関する緊急要望書」が提出され、党県議団も同席しました。養鶏農家からは「感染すると経営出来なくなる」など対策と支援を求める声が出されました。県の担当からは「産業振興の視点でしっかりと取り組みたい」と回答がありました。

## 県政・市政懇談会

小手指・北野地域のみなさんと県政・市政懇談会。

小林すみ子市議からは小野塚市政初の12月議会の報告などがありました。

私からは9月定例会の虐待禁止条例撤回の経緯と現状、12月定例会について報告しました。

参加者からは保健所復活や西友閉店後の影響など、様々なご意見ご要望が出されました。



## ガザは一日も早い停戦を

新所沢駅西口で、小林すみ子市議や新婦人内後援会たんぼぼ、地域のみなさんとガザへの人道支援募金に取り組みました。

「寒いなかご苦労様です」と声をかけてくれる方、募金してくれる方など、平和を願い暮らし応援の政治を求める対話が相次ぎました。

# 能登半島地震災害の救援募金にご協力をお願いします



## 【能登半島地震募金】

郵便振替 00170-9-140321

加入者名 日本共産党災害募金係

※通信欄に「能登半島地震募金」と明記を

地域みなさんと一緒に救援募金へのご協力をお願いしました。行き交う人々から、「テレビを見ていて辛くなる」「国もしっかりとして欲しい」「自民党の裏金ひどい！」などの声が寄せられました。ご協力いただいた募金は被災地へお届けいたします。



## 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年1月15日 NO. 14

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048

## 閉鎖移転を検討してる国立女性教育会館（嵐山町）を視察



政府が会館の閉鎖移転を検討している問題で、塩川鉄也衆議院議員、梅村さえこ元衆議院議員、党町議、新日本婦人の会会長、全労連女性部長と同施設を視察。

担当者は、施設管理費が男女共同参画の推進予算を圧迫しており、施設を切り離して人員や予算を確保すると説明。ジェンダーギャップ指数は 125 位、今年 4 月から困難を抱える女性の支援計画も実施予定。

政府は機能強化と言うが、ならば人も施設も含めて充実する時です。この施設で学んだひとりとして、政府の方針に疑問と不安を抱かずにはられません。



### 共学ネット・さいたまのみなさんと懇談

昨年 8 月に埼玉県男女共同参画苦情処理委員から県教育委員会に出された「県立高校の共学化の早期実現についての勧告」で意見交換。現状と課題、今後の取り組みについて活発な意見交換ができました。

### 埼労連旗開きであいさつ

埼玉県労働組合連合会の新春旗びらきに来賓としてご挨拶させて頂きました。

2024 年が労働者の命と権利を守り、雇用をしっかりと支える年へ！

みなさんとともに全力で取り組みます。







## 「並木団地入口」停留所の安全対策申し入れ

所沢市北原町(ヤオコーとガスト)に隣接しているバス停留所については、2021年8月に川越県土整備事務所に要望書を提出し一部改善されました。

1月17日、矢作いづみ市議や地元住民とバス停留所の移転も含め川越県道整備事務所へ安全対策と検討状況について、再度申し入れをおこないました。担当者は「バス停留所移転について西武バスにも確認したが、現段階では決まっていない。今後も周辺の安全対策を検討したい」と回答しました。引き続き安全対策に全力をあげていきます。



## 要望したバス停の現地調査

1月20日、川越県土整備事務所に再度の安全対策を要望した、所沢市北原町(ヤオコーとガスト)に隣接している県道56号沿いのバス停留所状況を矢作いづみ市議と調査しました。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年1月30日 NO. 15  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048



## 痴漢の対策強化 を求め要望

数年前からSNS上で受験生を標的とした痴漢をあおる投稿が相次いでいます。1月23日に、対策強化を求める申し入れを行いました。私は「痴漢は人権侵害で、断じて許せません。対策の強化を」と強く訴えました。副知事から「制服警官による巡回を強化している」との回答がありました。

## 困難を抱える女性への支援強化を

埼玉県男女共同参画推進センターを党県議団、梅村さえこ元衆議院議員、党県委員会ジェンダー平等委員会と視察しました。同センターは設置から22年。男女共同参画社会づくりの拠点施設として重要な役割を果たしています。今年4月から困難を抱えた女性への支援も始まります。必要な支援が届くよう、センターの機能強化が求められます。



## 所沢民主商工会 新年会

党市議団とともに参加しました。今年所沢民主商工会結成50周年になります。物価・資材高騰、インボイス制度の強行、国保税など社会保障負担増にも団結と連帯で取り組んでいます。「平和であってこそ商売繁盛」生業を守れ！の運動を大きく広げる年に。

## 2月定例会にむけて市議団とともに市の担当者と懇談



2月定例会に向けて党市議団と所沢市の各担当部と懇談。市民要求の実現へ、市政・県政・国政と連携して取り組みます。

### 危機管理・大規模災害特別委員会視察

東京都江東区にある有明の丘、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（そなエリア東京）を視察しました。

首都直下地震等の大規模災害発生時に「緊急災害現地対策本部」等が置かれ広域支援部隊等のベースキャンプや、災害医療の支援基地として機能する防災拠点施設です。防災学習の推進として体験ゾーンも併設されています。震災はいつ発生するか分からない！国は被災者支援制度の拡充を早期に実施すべきです。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年2月13日 NO. 16  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

## 県政 Newsレターお配りしました

モーニング・スピーチ新所沢駅  
今朝は矢作いづみ市議と東口からスタートです。「城下のり子県政レター」をお届けしました。



## 埼玉県医師会の新年会

地域医療の最前線で、県民の命と健康を守るためにご尽力されている県医師会。金井忠男会長とは私が市議の時から、所沢市の小児救急医療の拡充にもご尽力を頂きました。  
埼玉県は医師の数が全国最下位です。医師不足の解消、地域医療の更なる発展を！



## 女性県議と語ろうに参加

With you さいたまフェスティバル埼玉婦人問題会議のワークショップ「女性県議との懇談」に参加しました。日本共産党県議団からは私と伊藤はつみ県議。  
野本怜子県議(県民フォーラム)、金野桃子県議(県民会議)がそれぞれの思いをお話ししました。  
男女共同参画基本法が施行されて 25 年目、埼玉の男女共同参画を進めるために、みんなで声をあげましょう。





2/29 で閉店となる新所沢 PARCO について市民から様々なご意見・ご要望が寄せられました。昨年の 2 月市議会では特別委員会として、撤退に伴う新所沢駅周辺の将来像に向けた提言も出されています。

市民生活の拠点をどうするのか！今後のまちづくりのどうしていくのか！



## 所沢保健所の復活にむけ 越谷保健所を視察

所沢保健所の復活に向けて党県議団、所沢市議団と越谷保健所を視察しました。所沢市と同規模の自治体で 9 年前に中核市へ移行し保健所を設置しています。多くのことを学ばせていただきました。

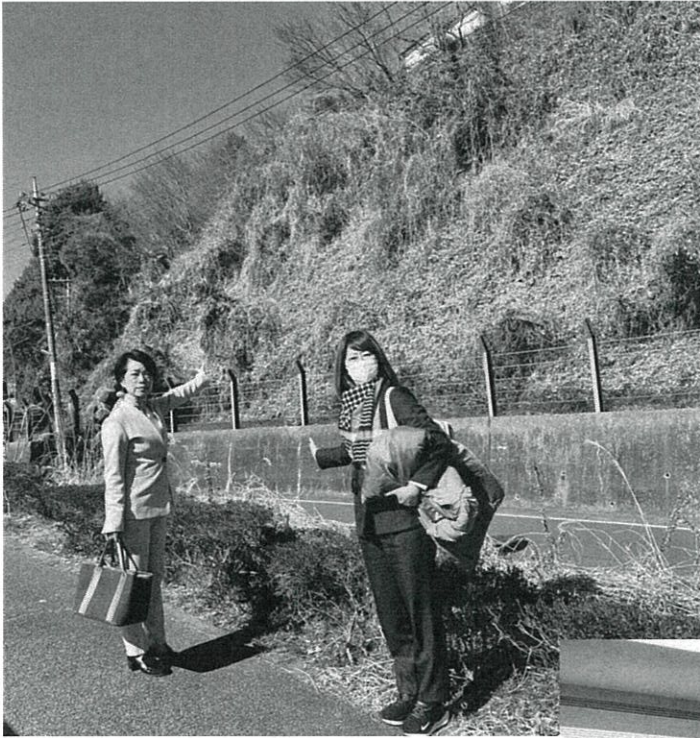
所沢保健所の復活に全力で取り組みます。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年2月27日 NO. 17  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

## 所沢市松井地区にある急斜面危険箇所の安全対策を急げ



所沢市松井地区にある急斜面危険箇所のアカバツケ(柳瀬川左岸)を中井めぐみ市議と視察。

地元の方から「約40年前に崩落があった」とのお話しもお聞きしました。

能登半島大震災や近年の大雨などもあり、住民の安全確保が求められています。

先日視察をした松井地区のアカバツケについて、党市議団と所沢市の危機管理課へ。地元住民も同席のもと現状認識と課題などについて意見交換をしました。災害はいつ起きるかわからない！日頃から危機意識を持って対応する事が必要です。



## 特別支援学校の教室不足が深刻 安心して学べる環境整備を

おおぞら特別支援学校(写真右)は所沢市内に肢体不自由児が通える学校を！と市民とともに運動し14年前に開校が実現。関わってきた子どもたちの笑顔が思い出されます。



開校46年目の所沢特別支援学校も視察しました。(写真左)市議の時に何度か訪問しましたが、こちらでも児童、生徒の増加により教室不足が深刻です。図書室を教室に転用したため廊下に本棚が並んでいます。

給食も作れる食数が限界の状況、教員不足も深刻です。子どもたちが安心して学べる環境の整備に、党県議団も引き続き取り組みます。

## 急性期病床の確保を 福祉保健医療委員会で反対討論



3月6日、埼玉県議会で福祉保健医療委員会が開かれ、知事提案の14件の議案と議員提出議案1件、請願:1件について審議が行われました。

知事提出議案の第8次埼玉県地域保健医療計画案について、党県議団として「高度急性期、急性期病床を過剰としている病床数計画は事態にあっていない」と指摘し反対しました。

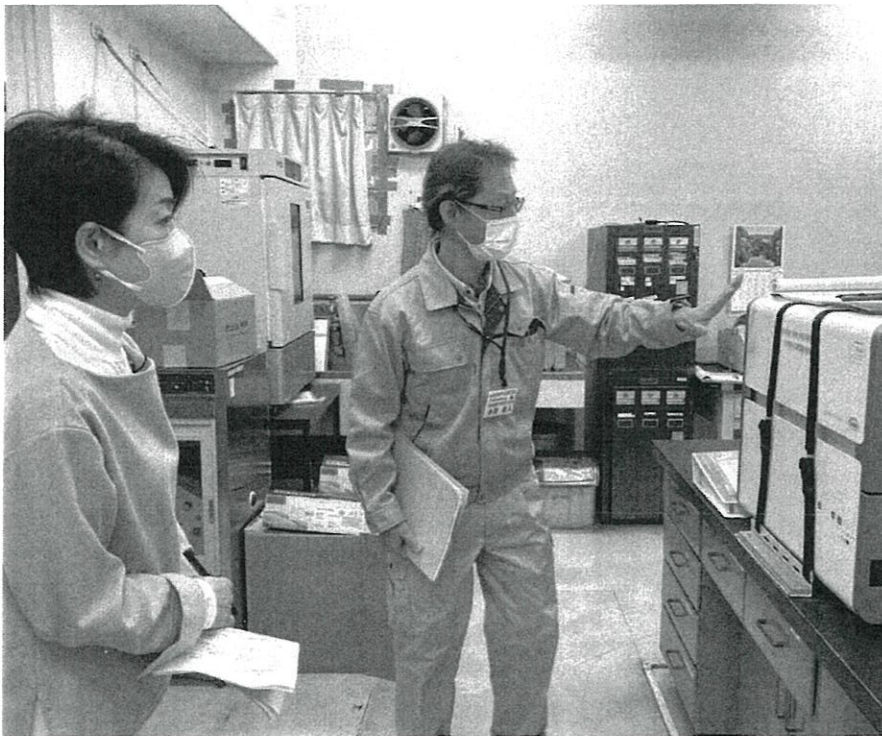
請願の「国民皆保険制度の堅持と健康保険証廃止期日の延期を求める意見書を国に提出する」については採択を主張しましたが、自民党、公明党が反対し不採択となりました。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年3月9日 NO. 18  
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
048-824-3413 FAX 048-825-1048

# 予算特別委員会にむけて準備中



予算特別委員会の準備で「埼玉県中央家畜保健衛生所」を視察。県内には3ヶ所(川越、熊谷、中央)あり、中央家保は唯一、病性鑑定担当部が設置されています。中央家畜保健衛生所が廃止され、2カ所体制にしようとしています。家畜保健衛生所は豚熱、鳥インフルエンザなどの検査や家畜農家への直接指導も行っています。現場に出向くことで現状と課題を知ることができました。

## 予算特別委員会 日程とテーマ

予算特別委員会で質疑を行います。取り上げるテーマとだいたいの時間です。

- 3月11日 16時 芸術劇場利用料金値上げ問題、県外私学通学者への私学助成を
- 3月12日 12時 中央家畜保健衛生所統廃合問題
- 3月13日 16時 国保と後期高齢者医療
- 3月14日 16時 学校給食無償化
- 3月15日 16時 運転免許更新キャッシュレス化問題
- 3月19日 16時 所沢保健所設置について





## 所沢保健所設置のために人的支援を

2024年度の予算特別委員会の総括質疑では所沢保健所の設置への支援について取り上げました。

県有地である旧所沢保健所跡地の無償提供を求めましたが、知事は規定通りの2割減免と回答しました。

県からの医師、獣医師など専門職員の派遣について、越谷市保健所への人的支援が減らされていた表を示しながら、県として、市の保健所を応援する立場であれば、市の状況や要望をしっかりと聞いて、十分な人数の派遣を行っていただきたいと求めました。知事は「所沢市の希望を尊重し設置以前から人的配置をおこないたい」と回答。引き続き所沢保健所の復活に全力で頑張ります。



# 城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年3月27日 NO. 19  
 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
 048-824-3413 FAX 048-825-1048

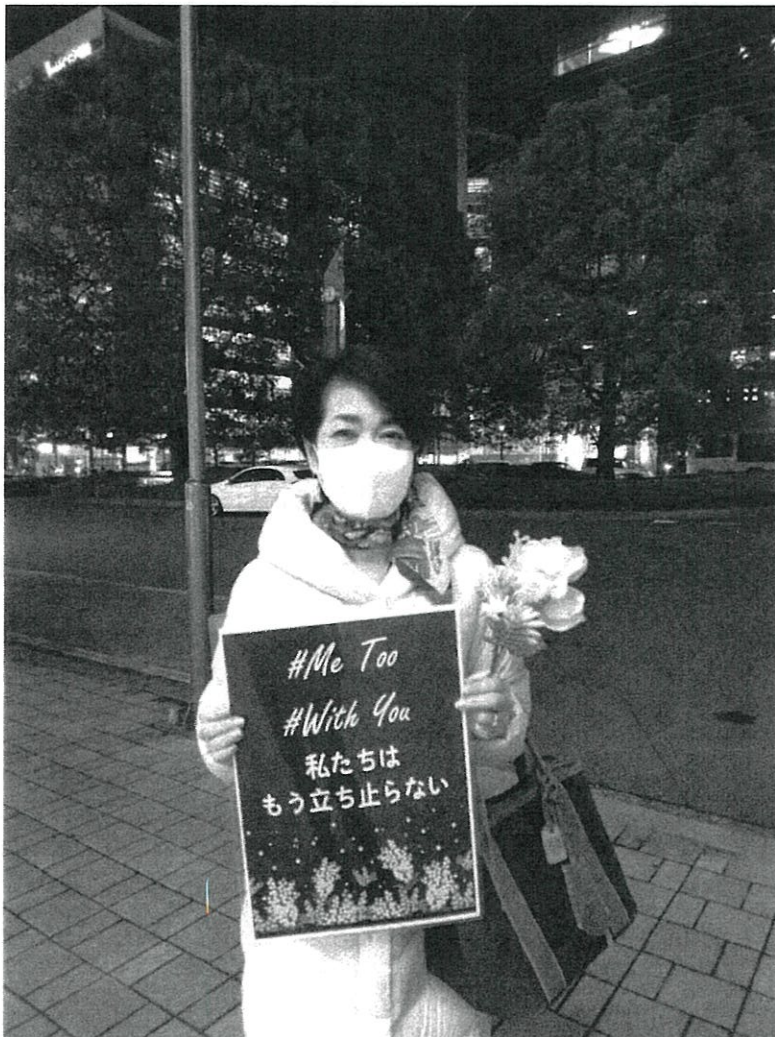


## ○埼玉県議会・予算特別委員会○

3/11～3/15 まで部局別質疑でした。

- ・学校給食の無償化を
- ・国保税・後期高齢者医療保険料引き下げを
- ・私立学校の父母負担軽減金の給付対象を県外私学に通う生徒にもなど、県民要求の実現へと取り上げ

航空公園駅 スピーチ  
地域みなさんと駅前スピーチ。  
私は2月定例会議の内容についてお話ししました。  
航空公園駅前で議会報告を始めて25年が経過。  
これからもみなさんの声を繋げてまいります。



## 2024年 国際女性デー

女性の働きやすさランキング、日本は主要29カ国の中で27位。私たちはこれからも声をあげ続ける。

